

わが国観光のフロンティアを切り拓く（概要）

わが国観光産業の成長に向けた戦略

観光産業の国際競争力強化

○ ニューツーリズム（体験型観光）の普及と拡大

- ・産業観光→地域の歴史・文化と関連施設を結び付けたストーリー性のある周遊ルートの設定。
自治体によるルート設定やPR、参加者の募集、周遊バスの運行。
- ・グリーンツーリズム→都市と農山漁村の交流による受入れ地域の活性化。
受け入れ農家・漁家や地域の実情に即した規制の改善。
- ・メディカル・ツーリズム→JCI認証の取得推進。外国人医師の資格、患者のビザの見直しなど。
- ・エンタメ観光→映画、アニメなどエンターテインメント・コンテンツと観光の戦略的な連携。
テレビドラマ、映画などの国際共同制作、ロケ誘致など。
- ・都市観光→歴史や情緒を伝える街並みの保全。水辺の再生による潤いある都市空間の創出。
共通ミュージアムパスの発行、国際学生証の割引適用範囲の拡大、免税手続簡素化。

○ MICEとIR（Integrated Resort）

- ・“選択と集中”の視点を持った、ハード・ソフト両面でのインフラ整備。
- ・施設整備や通訳の養成に対する政府の支援、トップセールスによるMICE誘致など。
- ・カジノも含めたIRの将来的な整備・運営の検討。

○ 人材の育成と活用

- ・産学官連携による人材交流やインターン等を通じた、地域の観光振興を担う人材の育成。
- ・マネジメント力、企画力、行動力に富み、観光業界の高度化を推進できる人材の育成。

戦略的な情報発信

- ・訪日観光誘致CMや観光専門番組等の放送。富裕層や女性をターゲットにした雑誌の活用。
- ・海外PRの重点化。地域別・国別の的確な戦略の構築。
- ・日本の全観光関連情報を把握できるポータルサイトの構築。
- ・在外公館等の一層の活用や世界遺産登録数の増加。

インフラ整備

- ・羽田・成田空港の一体的運用。都心部と空港間、空港間のアクセス改善。CIQ手続の迅速化。
- ・インフラの連携。大都市圏環状道路の整備。ミッシングリンク解消。高度交通システムの構築。
- ・総合観光案内所の設置。デジタルサイネージや携帯端末、カーナビによる移動支援システム整備。
- ・案内表示の多言語化。宿泊・観光関連施設の外国人観光客受入体制の改善。コールセンター設置。

観光を楽しむライフスタイルの実現

- 休暇取得の分散化は需要の平準化、雇用の安定に一定の効果。
- 企業の休日は、労使自治。十分な準備期間、実証実験による効果・問題点の検証が不可欠。

観光立国を目指す官民の体制強化

- 政府内の観光政策立案機能・推進体制の一元化。
- JNTOの機能強化（VJC事業の直接実施。独自財源の確保）。
- 業界団体の再編・統合。官民連携の仕組みの整備。